

2002年10月24日

県民の政治意識 第15回モニター調査 報告書

(2002年10月20日～22日調査)

調査の設計	1
結果の概要	3
各問の単純集計	6
調査票	10



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

調査の設計

調査の目的

第 15 回を迎えた「県民の政治意識 - モニター調査」は、通例では 8 月に実施されるが、7 月初旬の田中県知事に対する県議会の不信任案可決、それを受けた知事選で、大きく流動化した世論動向から距離をおいて、10 月下旬に延ばした。

県政では、田中知事と県議会の関係が従来のような一本調子の対決ではなくなったのと対照的に、国政は秋口から劇的な展開をみせた。

小泉首相は北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）を訪問し、関係改善への歴史的な一歩を踏み出した。しかしながら「8 人死亡、5 人生存」という思いもよらぬ拉致日本人の現況が通告され、国交正常化の“大義”とのバランスの危うさが早くも浮上。今回の調査は、生存者五人が家族を現地に残しての帰国、さらに北朝鮮が米朝合意に反して、核開発を進めていたことを認めるという大揺れが続く中で行われた。

また、今調査のタイミングは 1 週間後に行われる衆参 7 選挙区の統一補選（10 月 27 日投票）と重なった。就任後初めて内閣改造に踏み切った小泉首相だが、期待されたデフレ対策を先送りし、株価は低迷から脱出できないでいる。他方、野党第一党の民主党は鳩山由紀夫氏が代表に三選を果たしたものの、幹事長人事などの失態で党勢そのものが振るわない。

こうした出口の見えにくい状況下で、県民はどのように政治を見守っているのか、協会モニターを通じて意識の流れを追跡する。

調査の設計

調査方法 当協会の登録モニターに事前に調査票を郵送し、電話で回答を聞く方式。

【モニター～継続的な調査対象者】

1995 年 6 月の参院選直前、県下の満 20 歳以上の 1000 人を対象に、政治意識調査を実施。その際、追跡調査に協力できるという人たち 678 人を対象に、選挙直後の同年 7 月に「参院選の投票行動」調査を行った。

これを「第 1 回モニター調査」と位置付け、それ以降は男女別、年代別、選挙区別などの比率が“県下の有権者の縮図”となるようにサンプル対象者を選定して、96 年 2 月に第 2 回調査を行い、さらに半年間隔で年 2 回ずつ、定期的に続行している。この間、モニターは若干補正し、現在の登録数は 500 人。

調査時期 2002 年 10 月 20 日～22 日

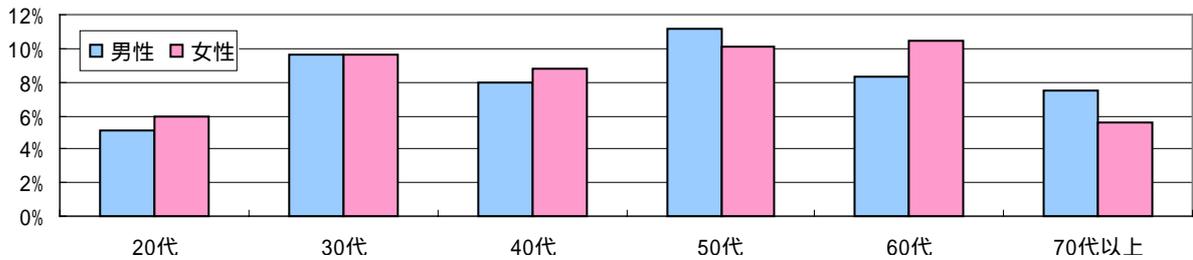
有効回収数（率） 468 人（93.6%）

<注> 報告書のパーセント数字は小数点第 2 位を四捨五入。合計が 100 にならない場合がある。

回収サンプルの内訳

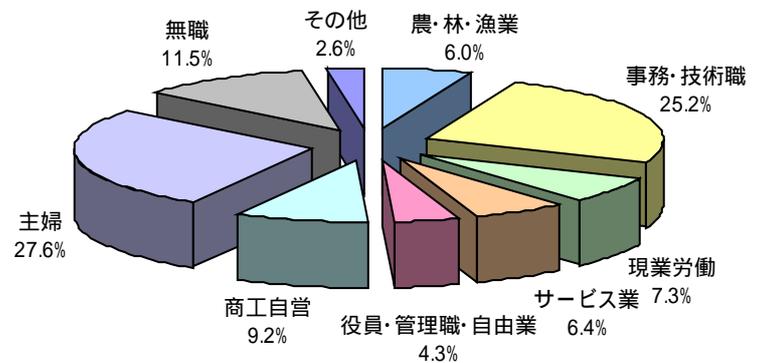
【性別と年代】

	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
全体	468	52	90	78	99	88	61
	100.0%	11.1%	19.2%	16.7%	21.2%	18.8%	13.0%
男性	232	24	45	37	52	39	35
	49.6%	5.1%	9.6%	7.9%	11.1%	8.3%	7.5%
女性	236	28	45	41	47	49	26
	50.4%	6.0%	9.6%	8.8%	10.0%	10.5%	5.6%



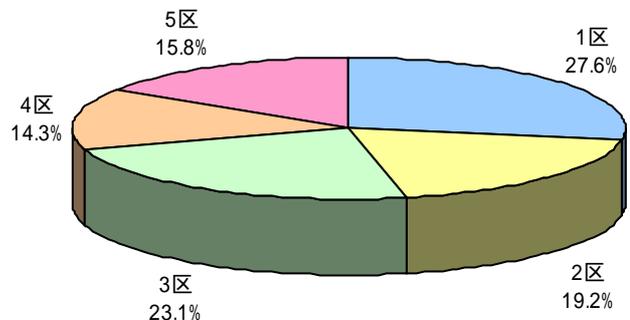
【職業】

農・林・漁業	28	6.0%
事務・技術職	118	25.2%
現業労働	34	7.3%
サービス業	30	6.4%
役員・管理職・自由業	20	4.3%
商工自営	43	9.2%
主婦	129	27.6%
無職	54	11.5%
その他	12	2.6%



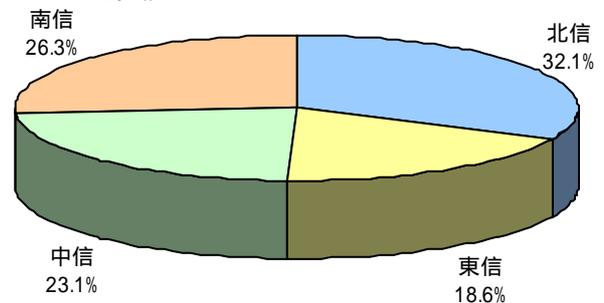
【選挙区】

1区	129	27.6%
2区	90	19.2%
3区	108	23.1%
4区	67	14.3%
5区	74	15.8%



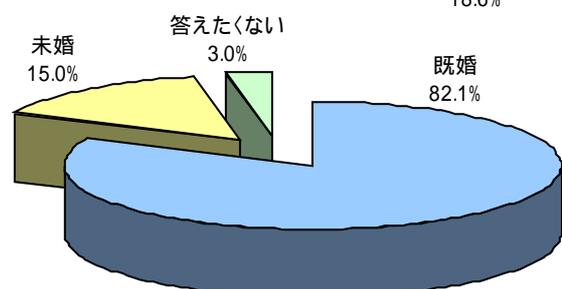
【地域】

北信	150	32.1%
東信	87	18.6%
中信	108	23.1%
南信	123	26.3%



【結婚の有無】

既婚	384	82.1%
未婚	70	15.0%
答えたくない	14	3.0%



調査の概要

国政の満足度と小泉内閣の評価

今の国政に「満足する」は積極的、消極的の合計で2割半ば。逆に「不満足」は7割半ば。前回に比べて、好意的な評価が増えた。

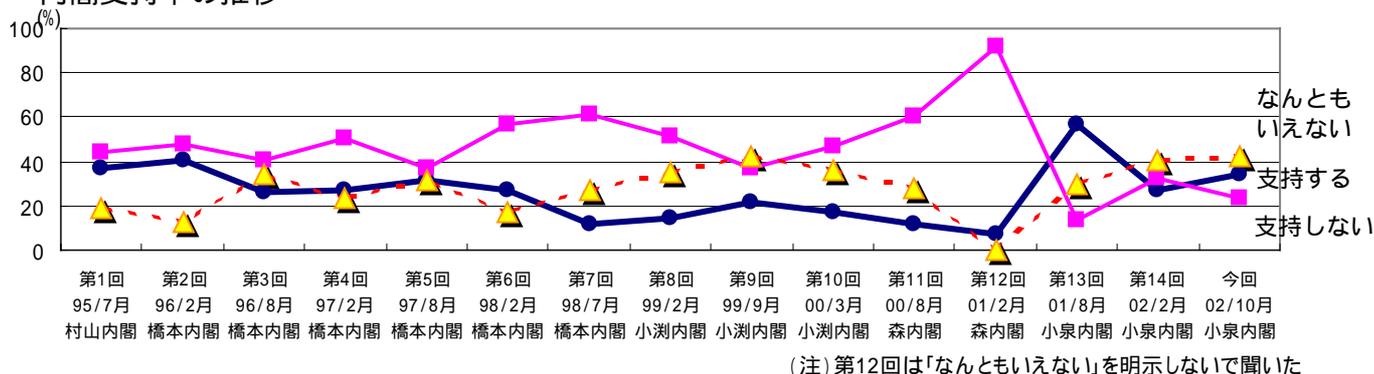
小泉内閣・首相の支持率は34.6%、不支持は23.1%。継続して政治意識の流れを探る協会モニター調査では、1回のみ通常サンプルの調査に比べて、従来から内閣に対する評価は、やや抑制ぎみの反応がみられ、前回調査(2002年2月)では不支持が上回った。「なんともいえない」は4割台にのぼり変動はない。

政党支持層では自民党の支持が7割を超す勢いだが、民主党や無党派層では2割すれすれで、不支持が上回った。

内閣支持の理由では「首相の政治姿勢が好ましい」と「ほかに適当な人がいないから」がトップにほぼ並び、続く「小泉純一郎さんが首相だから」の上位も前回と変わらない。

不支持の理由では「政策に期待できない」が断然多く、次いで「首相の政治姿勢が好ましくない」と「自民党・公明党・保守党の連立だから」が僅差で続く。

内閣支持率の推移



内閣改造と政策の進展

「一内閣一閣僚」の看板を掲げてきた小泉首相が発足1年半を経て、内閣改造に踏み切ったことについて「評価する」が半数を超えた。しかし「評価しない」も4割半ばにのぼった。

内閣新体制で、構造改革政策が進展するかどうかには「思わない」が6割を突破する厳しい受けとめ。「思う」はその半数程度にとどまる。

国政の課題では「景気・雇用」を重視する人が7割を超えたが、小泉内閣の下でその対策が進展すると「思う」のは2割にも届かず、8割以上が「思わない」と悲観的な見通しをしている。

金融の不良債権処理で、小泉首相は担当閣僚を替えて、公的資金の再投入の動きをみせていることには「評価しない」が6割半ば。「評価する」はその半分程度となっている。

対北朝鮮との関係改善

小泉首相が平壤を訪れて金正日総書記と直接会談し、電撃的に関係改善に着手したことを「評価する」が9割を超えた。しかし、今後の交渉の合意には、8割が「急ぐ必要はない」と“拙速”を戒めており、とくに無党派層では8割半ばにのぼる。

日朝交渉で優先的に取り組むべき懸案では「拉致事件」が圧倒的なトップ。次いで「ミサイル・核開発」が挙げられた。この2点では女性の感度が強めに出ている。その半面で「国交正常化」が僅差で続き、世論が注視する日朝交渉のポイントが明確に示された。

政党支持

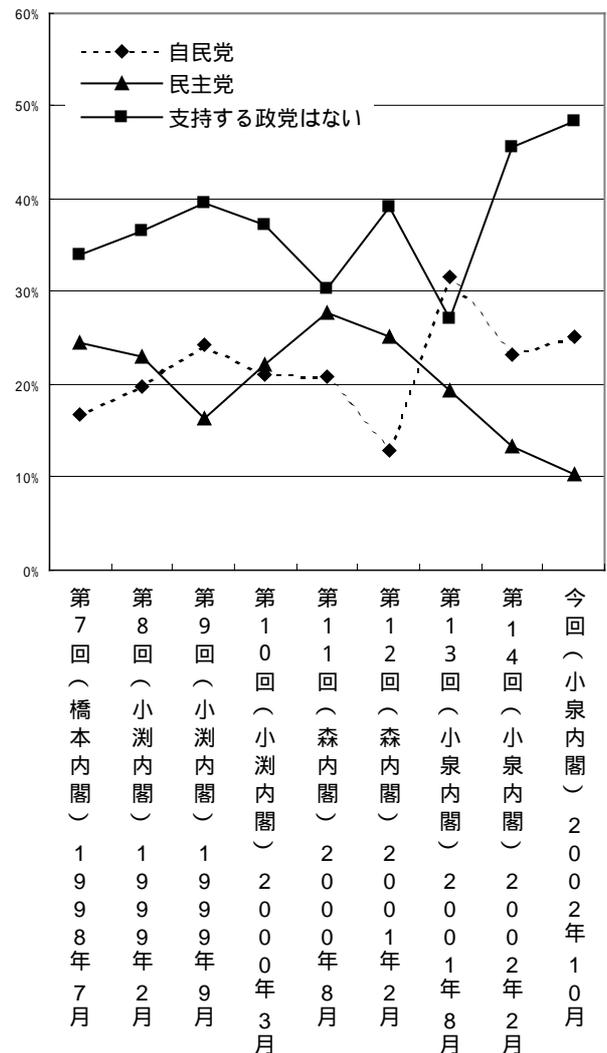
拉致された日本人の帰国が実現し、核開発の続行を認めた北朝鮮との交渉が迫り、他方では衆参両院の全国7選挙区の統一補選を控えた微妙な時期の調査で、自民党が25.2%でトップを維持。民主党は10.3%で、両者の差は前回よりも広がった。共産党が5.1%で単独3位に上がり、3%台の僅差で社民党、公明党、自由党の順で続く。

「支持政党なし」は48.3%で前回より若干伸びた。女性では半数を超え、男性より10ポイントも高い。年代層では30、40代で6割台に突入した。

支持する政党の評価・期待する点では「政策の現実性」が従来と同様に首位。それに「主義主張の一貫性」と「安定感・頼りがい」が上位に並ぶ。

支持政党なし層に対する見方では「政治・政党への不満、不信の現われ」がこれまでと同様に最も多い。2位の「政治家中心の選挙が背景にある」も変わらないが、3位には「政党がもっとがんばれば減っていく」という政党の努力への期待が食い込んだ。

自民党の支持層で「政治に無関心」と批判的な感度が強めなのに対して、民主党では「政党のがんばり」が前面に。無党派層は「政治不信」にとび抜けた反応を示している。



政治・政党の再編成と民主党

今後の政治・政党の再編成には「期待する」が6割、「期待しない」は4割弱という構図は前回とほとんど同じ。民主党と自由党の支持層で「期待する」が8割を超えているのが興味深い。

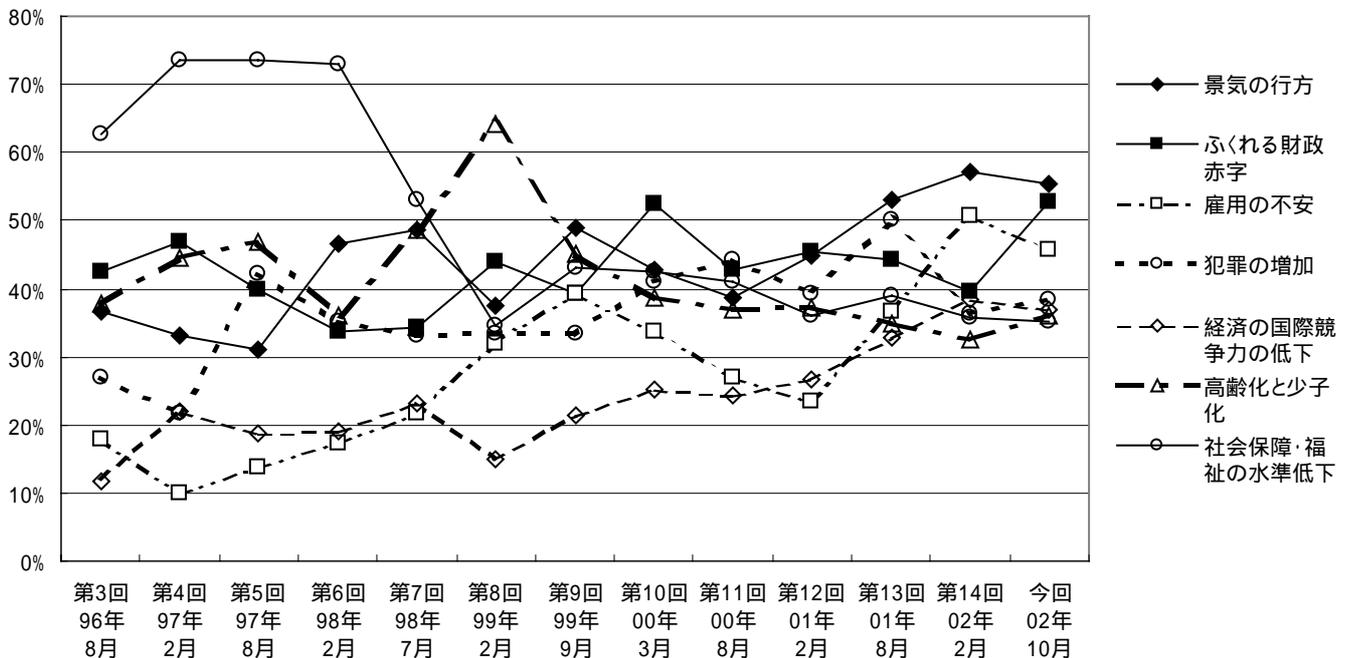
野党第一党として再編成の軸と目される民主党のトップに三たび選ばれた鳩山代表に「期待する」は2割を満たさず「期待しない」が8割近くにのぼった。民主党の支持層では「期待する」が4割を突破したが「期待しない」が6割近い高率で逆転しており、寄り合い所帯の脆弱さが如実に現れたかたちだ。

民主党が早めに政権につくことを「望む」は3割を割り込み「望まない」が7割を占めた。民主党が政権に参加する場合の方向については「再編成された政党・勢力の政権」が半数を突破し、民主党の支持層が“再編成による脱皮”に7割もの強い期待感を寄せている。

日本の将来の不安

「景気の方行」が先行き懸念の筆頭で変わらず、2位は「ふくれる財政赤字」が「雇用の不安」と入れ替わった。「犯罪の増加」と「高齢化・少子化」が上位に上がり「政治の不安定・不信」が後方に下がった。

上位7項目の推移



「景気」「財政」など上位7項目の大半で、男女の違いがほとんどないのが特徴的。「国際競争力」で男性、「犯罪」で女性の方が高めに出ているのがめだつ程度で、先行き見通しの不安感が幅広く定着する様相になっている。

単純集計

いまの国政に「満足」25% 「不満足」75%

問1 国民の期待や信頼に照らしてみても、今の国の政治に満足していますか			前回
大いに満足	3	0.6%	0.2%
どちらかといえば満足	116	24.8%	13.5%
どちらかといえば不満足	262	56.0%	57.4%
全く不満足	87	18.6%	28.9%
なんともいえない・わからない	0	0.0%	0.0%

内閣改造で構造改革「進む」4割に届かず 景気対策「進まない」8割突破

問2 内閣改造について		
A あなたは「一内閣一閣僚」を掲げた小泉首相が発足から約1年半で、初めて内閣改造を行ったことをどう思いますか		
評価する	249	53.2%
評価しない	214	45.7%
なんともいえない・わからない	5	1.1%
B あなたは今後、小泉内閣の構造改革政策が進むと思いますか		
思う	177	37.8%
思わない	290	62.0%
なんともいえない・わからない	1	0.2%
C あなたは今後、小泉内閣の景気・雇用政策が進むと思いますか		
思う	84	17.9%
思わない	384	82.1%
なんともいえない・わからない	0	0.0%
D あなたは、金融の不良債権処理で、小泉内閣が公的資金の再投入を進めようとしていることをどう思いますか		
評価する	152	32.5%
評価しない	308	65.8%
なんともいえない・わからない	8	1.7%

小泉内閣「支持する」35% 「支持しない」23%

問3 小泉内閣を支持しますか			前回
支持する	162	34.6%	26.8%
支持しない	108	23.1%	32.4%
なんともいえない	198	42.3%	40.7%

支持の理由「首相の政治姿勢」のトップ変わらず

問4 支持する理由は何ですか(2つ以内)			前回
首相の政治姿勢が好ましいから	71	43.8%	47.3%
ほかに適当な人がいないから	67	41.4%	47.3%
小泉純一郎さんが首相だから	41	25.3%	32.6%
自民党・公明党・保守党の連立内閣だから	22	13.6%	13.2%
政策に期待できるから	20	12.3%	27.1%
自民党中心の内閣だから	14	8.6%	16.3%
その他	1	0.6%	0.8%
なんとなく・特に理由はない	1	0.6%	0.0%

支持しない理由「政策に期待できず」にいぜん集中

問5 支持しない理由は何ですか(2つ以内)			前回
政策に期待できないから	80	74.1%	81.4%
首相の政治姿勢が好ましくないから	23	21.3%	53.8%
自民党・公明党・保守党の連立内閣だから	22	20.4%	15.4%
自民党中心の内閣だから	10	9.3%	28.8%
小泉純一郎さんが首相だから	7	6.5%	6.4%
ほかに適当な人がいるから	7	6.5%	1.9%
その他	3	2.8%	5.1%
なんとなく・特に理由はない	0	0.0%	0.6%

北朝鮮との正常化「合意は急がず」8割 優先課題は「拉致」抜きん出る

問6 小泉内閣の対北朝鮮外交について		
A 関係改善に着手したこと		
評価する	434	92.7%
評価しない	34	7.3%
なんともいえない・わからない	0	0.0%
B 国交正常化交渉の合意		
急ぐ方がよい	93	19.9%
急ぐ必要はない	373	79.7%
なんともいえない・わからない	2	0.4%
C これからの日朝交渉で、あなたが優先して取り組むべきだと考える懸案は何ですか(2つ以内)		
拉致事件	332	70.9%
ミサイル・核開発	132	28.2%
国交正常化	125	26.7%
工作・不審船	106	22.6%
東アジアの安定	69	14.7%
過去の清算	55	11.8%
国際関係	53	11.3%
韓国・北朝鮮関係	30	6.4%
経済支援	12	2.6%
その他	1	0.2%
特にない	1	0.2%

民主党の鳩山代表に「期待」2割 政権の座「早く望む」3割弱

問7 民主党について		
A あなたは、民主党代表に三たび選ばれた鳩山由紀夫氏に期待しますか		
期待する	93	19.9%
期待しない	373	79.7%
なんともいえない・わからない	2	0.4%
B あなたは、民主党が早く政権につくことを望みますか		
望む	136	29.1%
望まない	329	70.3%
なんともいえない・わからない	3	0.6%
C あなたは、民主党がもし政権に参加するとすれば、どのような方向を望みますか		
再編成された新しい政党・勢力の政権	255	54.5%
自民党との連立政権	97	20.7%
今の野党を結集した政権	93	19.9%
その他	14	3.0%
なんともいえない・わからない	9	1.9%

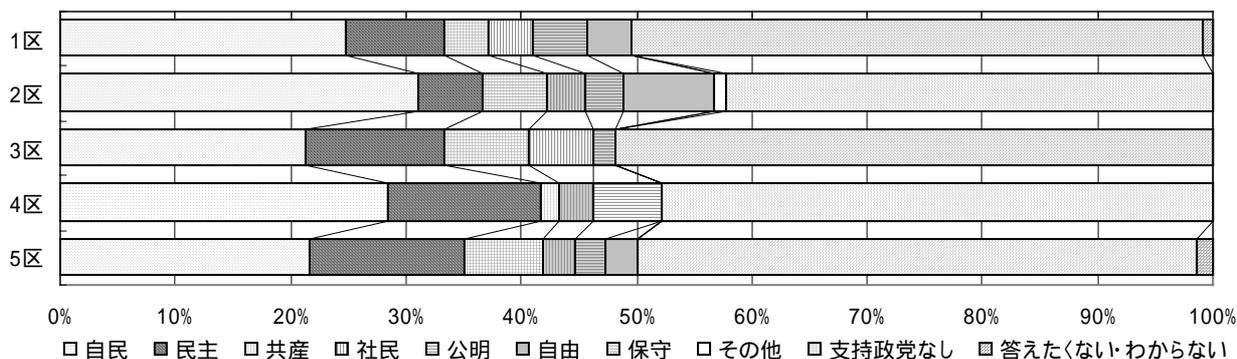
こんごの政治・政党の再編成「期待する」6割キープ

問8 「政治・政党の再編成」が今後行われることを期待しますか			前回
期待する	284	60.7%	60.1%
期待しない	182	38.9%	39.5%
なんともいえない・わからない	2	0.4%	0.4%

政党支持 - 自民 25.2% 民主との差拡大 無党派層 48.3%

問9 どの政党を支持しますか			前回
自民党	118	25.2%	23.3%
民主党	48	10.3%	13.3%
共産党	24	5.1%	4.8%
社民党	18	3.8%	4.4%
公明党	17	3.6%	4.8%
自由党	14	3.0%	2.9%
保守党	0	0.0%	0.4%
その他の政党	1	0.2%	0.0%
支持する政党はない	226	48.3%	45.5%
答えたくない・わからない	2	0.4%	0.6%

選挙区別では



支持政党の評価する点「政策の一貫性」首位変わらず

問10 支持する政党のどんな点を評価し、期待していますか(2つ以内)			前回
政策の現実性	79	32.9%	30.1%
主義主張の一貫性	65	27.1%	25.9%
安定感・頼りがい	59	24.6%	25.1%
長期的な視点	50	20.8%	21.6%
革新的な姿勢	43	17.9%	17.8%
清潔なイメージ	39	16.3%	14.7%
党首の魅力	38	15.8%	20.1%
日本国憲法への姿勢	28	11.7%	10.0%
開かれた党運営	22	9.2%	8.1%
中道的な姿勢	21	8.8%	9.7%
保守的な姿勢	12	5.0%	4.6%
その他	4	1.7%	2.3%
なんともいえない・わからない	0	0.0%	1.2%

無党派層に対する評価「政治・政党への不満、不信」根強く

問11 「支持政党なし(無党派)層」について、どのようにお考えですか(2つ以内)			前回
政治・政党への不満、不信の現われ	317	67.7%	71.3%
政治家中心の選挙が背景にある	127	27.1%	27.7%
政党がもっとがんばれば減っていく	126	26.9%	24.7%
政治に対して無関心、無責任	101	21.6%	25.6%
自由に1票を行使している	77	16.5%	12.5%
政治を不安定にさせている	48	10.3%	9.6%
政治に関心の高い人が多い	47	10.0%	6.2%
選挙で棄権が多く投票率を下げの一因	26	5.6%	8.3%
選挙を面白くさせる波乱要素	18	3.8%	5.4%
その他	4	0.9%	0.6%
なんともいえない・わからない	11	2.4%	0.8%

国政の重要課題「景気・雇用」に7割超す集中

問12 国の政治の課題として、次に挙げた項目の中では、どれが最も重要だと思いますか			前回
景気・雇用	334	71.4%	68.0%
福祉・医療	57	12.2%	7.3%
行財政	40	8.5%	18.7%
教育	27	5.8%	3.1%
安全保障	8	1.7%	0.2%
その他	1	0.2%	0.4%
なんともいえない・わからない	1	0.2%	2.3%

日本の将来の不安「景気」「財政」「雇用不安」が上位に並ぶ

問14 日本の将来を考えると、とくに心配したり、不安に思うことがありますか(5つ以内)			前回
景気の行方	259	55.3%	57.0%
ふくれる財政赤字	247	52.8%	39.7%
雇用の不安	214	45.7%	50.7%
犯罪の増加	180	38.5%	36.2%
経済の国際競争力の低下	172	36.8%	38.3%
高齢化と少子化	169	36.1%	32.4%
社会保障・福祉の水準低下	165	35.3%	35.8%
地球環境・自然破壊	150	32.1%	24.5%
モラルの低下	136	29.1%	27.2%
政治の不安定・不信	135	28.8%	39.1%
青少年の教育・育成	124	26.5%	25.6%
官僚依存型の社会の体質	108	23.1%	34.5%
進まない行政改革	105	22.4%	29.1%
国の安全保障	103	22.0%	14.6%
エネルギー不安	24	5.1%	5.4%
食糧危機	18	3.8%	
特になし・わからない	1	0.2%	0.0%

調査票

第 15 回 モニター電話調査

問 1 あなたは、国民の期待や信頼感に照らしてみても、今の国の政治に満足していますか。

- 大いに満足
- どちらかといえば満足
- どちらかといえば不満足
- 全く不満足

問 2 小泉首相がこのほど行った内閣改造に関連してうかがいます。

A あなたは「一内閣一閣僚」を掲げた小泉首相が発足から約一年半で、初めて内閣改造を行ったことをどう思いますか。

- 評価する
- 評価しない

B あなたは今後、小泉内閣の構造改革政策が進むと思いますか。

- 思う
- 思わない

C あなたは今後、小泉内閣の景気・雇用対策が進むと思いますか。

- 思う
- 思わない

D あなたは、金融の不良債権処理で、小泉内閣が公的資金の再投入を進めようとしていることをどう思いますか。

- 評価する
- 評価しない

問 3 あなたは、小泉内閣を支持しますか。

- 支持する
 - 支持しない
 - なんともいえない
- 問 4、6 へ
 - 問 5、6 へ
 - 問 6 へ

問 4 <問 3 で とお答えの方に>

支持する理由は何ですか。2 つ以内で挙げてください。

- 自民党中心の内閣だから
- 自民党・公明党・保守党の連立内閣だから
- 小泉純一郎さんが首相だから
- 首相の政治姿勢が好ましいから
- 政策に期待できるから
- ほかに適当な人がいないから
- その他 ()

問5 <問3で とお答えの方に>

支持しない理由は何ですか。2つ以内で挙げてください。

- | | |
|---------------|------------------|
| 自民党中心の内閣だから | 首相の政治姿勢が好ましくないから |
| 自民党・公明党・保守党の | 政策に期待できないから |
| 連立内閣だから | ほかに適当な人がいるから |
| 小泉純一郎さんが首相だから | その他() |

問6 あなたは、小泉内閣の対北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）外交について、どのように考えますか。

A 北朝鮮との関係改善に着手したこと

- | | |
|------|-------|
| 評価する | 評価しない |
|------|-------|

B 国交正常化交渉の合意

- | | |
|--------|---------|
| 急ぐ方がよい | 急ぐ必要はない |
|--------|---------|

C これからの日朝交渉で、あなたが優先して取り組むべきだと考える懸案は何ですか。2つ以内で挙げてください。

- | | | |
|--------|----------|---------|
| 工作・不審船 | 国際関係 | 東アジアの安定 |
| 過去の清算 | 経済支援 | その他 |
| 拉致事件 | ミサイル | () |
| 国交正常化 | 韓国・北朝鮮関係 | 特になし |

問7 党代表の選挙がこのほど行われた民主党についてうかがいます。

A あなたは、党代表に三たび選ばれた鳩山由紀夫氏に期待しますか。

- | | |
|------|-------|
| 期待する | 期待しない |
|------|-------|

B あなたは、民主党が早く政権につくことを望みますか。

- | | |
|----|------|
| 望む | 望まない |
|----|------|

C あなたは、民主党がもし政権に参加するとすれば、どのような方向を望みますか。

- | |
|-------------------|
| 自民党との連立政権 |
| 今の野党を結集した政権 |
| 再編成された新しい政党・勢力の政権 |
| その他() |

問8 あなたは、政党が統一や分裂して新しい政党が生まれたり、新しい協力関係をつくったりする「政治・政党の再編成」が今後行われることを期待しますか。

期待する

期待しない

問9 あなたは、どの政党を支持しますか。

自民党
民主党
公明党
自由党

共産党
社民党
保守党
その他の政党 ()

~ までの
方は問10、11へ

支持する政党はない

問11へ

問10 <問9で ~ とお答えの方に>

あなたは、支持する政党のどんな点を評価し、期待していますか。
次の中から2つ以内で挙げてください。

安定感・頼りがい
主義主張の一貫性
政策の現実性
保守的な姿勢

革新的な姿勢
中道的な姿勢
党首の魅力
開かれた党運営

日本国憲法への姿勢
清潔なイメージ
長期的な視点
その他

()

問11 あなたは「支持政党なし(無党派)層」について、どのようにお考えですか。
次の中から2つ以内で挙げてください。

政治を不安定にさせている
自由に1票を行使している
政治に対して無関心、無責任
政治に関心の高い人が多い
政治・政党への不満、不信の現われ
選挙を面白くさせる波乱要素
政党がもっとがんばれば減っていく
政治家中心の選挙が背景にある
選挙で棄権が多く投票率を下げる一因
その他 ()

問12 あなたは、国の政治の課題として、次に挙げた項目の中では、どれが最も重要だと思えますか。

教育
行財政
福祉・医療

景気・雇用
安全保障
その他 ()

